ソフトウェア概論 B

数学科 吉開範章, 渡辺俊一 (栗野 俊一)

前回のまとめ：メモリとポインター値

- メモリモデル
  - 計算機にはメモリがある(メモリはセルの集まり)
  - セルの性質
    - アドレス(番地)をもつ：メモリ内でのそのセルの位置を表現
    - セルは一つでは 1 byte しか記憶できない
    - ワード:複数のセルをまとめることにより、大きな数が記憶ができる
- 変数とメモリ
  - 変数は、ワードによって実現されている
    - 変数はワードの先頭アドレスで区別される：ポインター
- 変数とポインター値
  - アドレス演算子 (&) : 変数からポインター値を取り出す
  - 間接演算子 (*) : ポインター値から変数を作る
    - 「&」 と 「*」 は逆演算
- 課題の解説
  - 課題 20101119-01

本日の概要：ポインター(3)

- 配列とポインターの関係
- これまでの内容とポインター
  - 暗黙の内に利用されていたポインター値
    - 定数ポインターとしての配列名
  - わけも別らずに利用されていたポインター値
    - scanf におけるポインター値の利用
- ポインターの便利な使い方

ポインター演算 (復習とまとめ)

- ポインター値の属性(再録)
  - アドレス値 : 計算によって変更できる
  - 型情報 : 型キャストによって変更できる
- ポインター値の作り方
  - 変数からアドレス演算 (&) で作る
    - ほぼ、安全だが、それ単独では、あまり意味がない値
  - アドレス値とキャストで作る
    - 危険を内包するが、潜在能力の高い値
  - 他のポインターから計算で作る
    - 「便利さ」を追加できる(もとが安全ならこれも安全..?)
- ポインター値の計算
  - ポインター値に整数を加える : ポインター値
    - ポインターのアドレス値だけを変更
    - アドレス値は、「加える整数 × sizeof(型)」だけ変化する
  - ポインター値同士の引き算 : 整数値
    - 「アドレス値の差 ÷ sizeof(型)」になる

ポインターの利用法

- 別名 (alisa ; エイリアス)
  - ポインター型変数(xp)に変数(xv)のアドレスを代入する
    - *xp を xv の代わりに利用できる
    - *xp が xv の「別名」になる
- 利用例
  - 変数宣言

```
int iv;   // iv を ip とは「別に用意」する必要がある
int *ip;  // ip 自身の宣言 (指し先の型へのポインタ型)
```

  - 別名としての利用

```
ip = &iv; // ip に iv のアドレスを代入する(ip が iv を指す)
        // これがないと *ip は使えない(典型的なバグの原因)
*ip = 1;  // iv = 1; と同じ (別名になっている)
printf ( "%d\n", *ip );
        // printf ( "%d\n", iv ); と同じ
```

ポインター値の利点(1): 値であること

- 関数の引数
  - 「値」しか渡す事ができない
  - 呼び出し側の変数の値を変更するには ..？
    - 「関数値」を返し、その値を呼び出し側で変数に設定
    - 変数の値の変更(副作用)は呼び出し側で行う
- 関数引数としてのポインター値
  - 関数の実引数として、ポインター値を指定できる
    - 実際に渡されるのは、「アドレス値」だけ...
    - 値の受け手としての仮引数変数をポインター型変数として宣言
    - 与えられたポインター値を利用して、呼び出し側の変数を参照できる
  - 副作用(変数の内容の変更)が(見えない)関数の中で行われる
    - プログラムを理解しにくくする原因
    - あまり利用すべきでない
- 過去の例
  - scanf の引数
    - scanf ってよくわからない

scanf 再考

- scanf の機能
  - キーボードから入力された値を変数に代入する
    - scanf 関数の中で代入を行う
    - ポインターの指定が必須
    - 「おまじない」の「&」
  - 色々な型の変数を扱う
    - 「型」情報はどうする？
    - 最初の引数の文字列の中で指定
    - 「暗記必須」の「%」
- scanf の利用
  - 知らず知らずの内にポインターを利用していた...
    - 問題がおきたら、scanf を疑え

配列名とポインター

- 配列とポインターは密接な関係がある
  - 配列名の出現できるところには、ポインター式が書ける
    - というか、配列名の代わりにポインターを書く事が多い
  - C 言語でポインタが多用される訳
    - 柔軟性のある配列名として利用するため
    - C 言語のほとんどの状況では、ポインターが不要
- 配列名はポインター定数
  - 配列名は、ポインター値を持つ
    - 具体的には配列の先頭の要素へのポインタ
- 配列の要素への参照は、実は、間接参照

```
array[index] == *(array + index)
```

  - 配列を利用すること、すなわちポインターの利用だった..

再び scanf 再考

- scanf での文字列入力

```
char line[10];

scanf ( "%s", line );  /* 何故か '&' がない..      */
                       /* line はポインターなので.. */
```

- 途中から入力するには..

```
char line[10] = "abcdef";

scanf ( "%s", line + 3 ); /* "xy" と入力すると.. */
printf ( "%s\n", line ); /* "abcxy" と後が上書きされる */
```

- 準備した領域より長い文字列をいれたらどうなるか？
  - 危険なポインターの利用になってしまう...
  - 「正しい文字列」の入力方法
    - scanf で長さ指定

```
scanf ( "%9s", line );
```

    - fgets を利用する。

```
fgets ( line, 10, stdin );
```

ポインターの利点: 配列と添字を同時に表現

- 何故、ポインターを使うの？
  - 配列を使えば済むのに...
- 配列は定数だが、ポインターは変数？
  - だったら、添字変数を併用すればよいのでは？(配列だし..)
- 配列と添字を対で使いたい
  - 二つのものが同時に表現できるのがポインター？

課題

□課題は、次の Web Page の内容を参照してください。

http://edu-gw2.math.cst.nihon-u.ac.jp/~kurino

おわり

終了